

「掛川市の自主財源増強のために」

～「自主財源増強」のための方策～

- ① 市の歳入構造の分析と確実な収入
- ② 市内GDPの向上(市内固有の需要や供給の拡大)
- ③ 交流人口の拡大と雇用の創出

**テーマ1 まちの活性化**

「掛川ブランド」の創出と地域プロモーションの展開からまちの活性化を図る

◇市役所の組織づくり	市役所内に「シティプロモーション課・担当者」の配置(企画・農林・商工・観光・広報の横断的セクション) 掛川のプロモーションに関する民間の人材登用(例:プロモーション課長の全国公募)
◇プロモーション手法	「ロゴ」や「ゆるキャラ」による掛川市のプロモーション(例:茶のみやきんじろう) 市民協働による掛川市のプロモーション(シティセールス戦略策定、サポーター制度、特命大使、フェイスブック活用) 市民協働と連携による地域資源を活かした掛川市のブランド構築(例:お茶のまち)

**テーマ2 市有財産の有効活用と使用料等の収入アップ**

発想の転換で市有施設の収支バランスを改善 市有財産の有効活用を考える

◇市有財産の柔軟な利活用	公共施設の広告掲載強化(例:公用車、玄関マット・エレベーターマット、印刷物等) 公共施設の目的外使用の弾力的運用と条例改正(例:利用者サービス向上としての販売等)
◇積極的な官民連携・民活導入	公共施設の管理運営に関する積極的な民間委託(例:図書館等) 未利用かつ不要な市有財産の処分や統廃合
◇計画的運用と使用料見直し	長期修繕を見据えた公共施設等の使用料等基準の見直し(例:体育施設、歴史・文化施設等) 収益性を加味し、他都市との比較による使用料基準の見直し

**テーマ3 使用料の収納率の向上や納税額アップ**

税金及び利用料等(市営住宅家賃、学校給食費等)の収納率アップ

◇市民納税意識の向上	個人市民税及び固定資産税の収納率の県下ナンバー1をめざして
------------	-------------------------------